

### (3) 取組内容

#### B 職域拡大

#### 女性の体力面での差を補う器具・設備（スクーター、軽量工具等）の導入

- ・ 一般的に渉外業務はバイクで行うが、女性が活動しやすいように、女性のためにスクーターを購入する等の配慮を行った。  
(福岡県・複合サービス事業 労働者数 448 名、うち女性 170 名 他 4 社)
- ・ 営業職への女性定着を図るため、職場環境の改善として女性専用簡易シャワーの設置、全営業所へのオートマチック車の補充を行った。  
(東京都・製造業 労働者数 1,434 名、うち女性 91 名)
- ・ 従来男性が従事していた小麦粉のミキシング作業に女性を就かせた際、男性との身長差もあったことから、女性の負担軽減のために踏み台を用意し、作業改善を図った。  
(東京都・製造業 労働者数 17,246 名、うち女性 2,401 名 他 1 社)
- ・ 部品組立の際、13kg 以上のものを扱う際、補助具を使用。男性も含めて「労働条件の改善」という目的で実施されているが、機械操作を行う部署での女性の活躍に役立っている。  
(山形県・製造業 労働者数 127 名、うち女性 104 名 他 5 社)
- ・ 一部、作業が困難な工程では独自の創意工夫で別の方法を取るなどして、無事完成させた。(例:屋根に登るのは危険なため、地上で屋根を作ってからつり上げる、壁に登るのは困難なので、壁をパネルにしてしまう等)  
(静岡県・建設業 労働者数 75 名、うち女性 22 名) →建設業 B
- ・ 検査業務に女性の複数配置を実現することを目的に、寒暖の差の激しい就業環境を改善するため、新たな作業場を建設した。女性の複数配置を実現し、良好な就業環境の下、作業効率も上がった。  
(滋賀県・製造業 労働者数 300 名、うち女性 25 名 他 1 社) →中・小製造業 D
- ・ 夜間用に女性専用の休養室を設置、防犯ブザーを全員に貸与している。  
(石川県・製造業 労働者数 796 名、うち女性 310 名)

## 女性社員を初めて受け入れる部署に対して、女性社員を複数配置（孤立を防ぐ）

- ・ 女性のいない部署に女性を新たに配置する際、複数の女性を配置。  
(兵庫県・製造業 労働者数 383 名、うち女性 153 名 他 12 社)
- ・ 平成 14 年度から、生産現場に配属される大卒女性に対して入社前研修を実施し、工場配属の際も、大卒女性生産職を複数で配属した。その結果、定着率が向上した。  
(東京都・製造業 労働者数 17,246 名、うち女性 2,401 名) →大手製造業 B
- ・ 深夜勤務への配置に際して、1 シフトあたり女性の配置は同一職場において 3 人以上とした。  
(石川県・製造業 労働者数 796 名、うち女性 310 名)
- ・ これまで女性の配属のなかった深夜に及ぶ残業や休日出勤のある部門に、女性を複数配置。  
(香川県・製造業 労働者数 185 名、うち女性 38 名)

## 新しく女性が営業現場へ配属された場合、上司が得意先に同行して理解を求める

- ・ 女性の配置を予定している外商のリーダーに、予め半年前に話をして担当地域や顧客を検討した上で配置。配置後 3 ヶ月間は一緒に顧客先を訪問する等、OJT を施すよう指示している。  
(岡山県・卸売・小売業 労働者数 840 名、うち女性 466 名) →卸売・小売業 E
- ・ 配置にあたっては、営業課長が 2~3 週間得意先と一緒にまわり、得意先の理解を得ながら研修を実施している。  
(山形県・製造業 労働者数 57 名、うち女性 29 名)